



2006年11月 11日(土)

受付12:00 13:00~17:00 12日(日)

受付 9:30 10:00~16:00

(1日だけの参加もOKです)

### 参加費(資料代)

子ども:無料(18歳未満または高校3年生まで) おとな:1,000円(当日受付1,200円)

- \*2日間通しての料金です。 (参加申し込み方法は裏面をご覧ください。)
- \*託児あり。

申し込み時に子どもの名前と年齢を明記してください。 託児料300円(予定)。要事前申し込み。



- R能太駅より/自動車利用:約15分 日朝年や市:約10万 市営バス利用:第一環状線(大学病院回り)…バス停[大江渡鹿]下車5分 中央環状線(大学病院回り)…バス停[学園大前」下車

子どもの権利条約ネットワーク、(N)ウィメンズ·カウンセリングル ーム熊本、おおづ子どもサボネット、(N) NPOこどもサポート・みん なのおうち、熊本県教職員組合、(N)熊本県子ども劇場連絡会、熊本

県人権教育研究協議会、熊本県認可外保育園保護者連絡会、(N)くまもと子どもの人権テ -ブル、(財)熊本YMCA、熊本YWCA、国際子ども権利センター関西事務所、こころのサポ ートセンター·ウィズ、(N)子育て支援ワーカーズ絵本とおはなしの店べべべべらん、子ど もの人権・安全ステーション、コムスタカー外国人と共に生きる会、自然観察指導員熊本 県連絡会、(N) シティエンジェルスくまもと、(N) 自立生活センターヒューマンネットワ 一ク熊本、人権NPO法人ちなもい、登校拒否・不登校に学ぶフレンズネットワークくまも と、"人間と性"教育研究協議会熊本サークル、ふるさとづくり交流協会、ほおずきの会、ほ っぷ・すてっぷ・CAPくまもと、(N)水と緑いきものネットワークくまもと、みるくらぶ、 八代女性市民の会、八代地区人権同和教育研究協議会、DCI熊本セクション

### 3 熊本学園大学

〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号 TEL (096)364-5161(代表)



# ごあいさつ



「子どもの権利条約フォーラム2006 in くまもと」が大成功のうちに幕を閉じることができました。事務局の砂川真澄さん、実行委員会の皆さん、熊本をはじめ全国から集まって会を盛りあげてくださった皆さん方の熱意に改めて厚くお礼申し上げます。

・子どもの権利条約は何よりも子ども達のものですから、会の企画、運営に子ども達の自主的な参加が一番大切です。最初の企画から参加した子ども達を中心に子ども委員会が広がりをもち、くまもとでの子ども 達の大きなうねりをつくりだすことができました。

会場となった熊本学園大学では、教育指針の柱に「学生が主役」を掲げています。学生ひとりひとりが自分が求めることに自主的に取り組める環境を用意することこそが大学の役割だと考えています。そして多くの学生が自分にはこんなことができるのだというサプライズを自信につなげ、可能性を大きく広げる姿を私は見てきました。

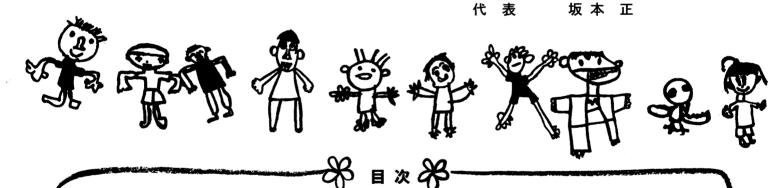


「子どもの力をうばわないで!」をサブタイトルにしています。世界中で多くの子ども達の生活と権利が奪われ、苦しんでいます。子どもの権利を保障していくことこそが、21 世紀を平和の世紀にすることができます。くまもとからもこの活動を更に広げていきたいと強く願っています。



2007年3月

「子どもの権利条約フォーラム2006 in くまもと」実行委員会



Oごあいさつ /1

〇報告の部

1 1 日全体会・セミナー報告 /2 シンポジウム報告 /4 1 2 日全体会報告・コーナー報告 /5

分科会報告 /6

〇活動経過とプレイベント /14

〇子ども体験レポート

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン熊本/16

全体会進行の舞台裏 /17

ヒューマンライツセミナー /18

中学生以下の仲間たち /19

〇新聞記事 /20

〇支えてくださった団体 /24

O編集後記 / 25



## シンポジウム報告

(12日13:00~15:00)

報告/生駒 研二

おなかがすいたら食べましょう。ねむたくなったら眠りましょう。すっきり目ざめたら遊びましょう。

そう、ガキ大将になって大暴れ。ワクワク、ドキドキ。「ウヒヒ、楽しいね。わたしゃヨモギを食べて、カキ泥棒もやって、人生の根を張ってるんだよ。子ども時代をゆたかに生きているんだよ」

「ほら、言わないことじゃない。子どもに権利を与えたら大変だよ。子どもに権利やらいらん。今でもこどもは手がつけられないほど荒れているのに、子どもの権利条約なんて子どもが知ったら、わがままになるばかりで、おとなの言うことなんて聞かなくなるぞ。今のままでいい。本当は『子どもの管理条約』がほしいくらいだよ」

「そうでしょうか?子どもはおとなの犠牲者です。非行は子どものSOSなんです。学校ではいじめ。家庭では 虐待。どこにも居場所がない子が多くなっています。無気力な子。とじこもり。不登校。うつろな目。冷めたい目。 親への不満やおとなが嫌いと敵視する子。このままでいいわけないじゃないですか」

「じゃあ、どうすればいいっていうの?私たちの町でも『こどもにやさしいまちづくり』をしようと、こども参加といって、公募したり、アンケートとったり、ヒヤリングしたりいろいろやったけど、こどもはほとんど反応しないじゃない」

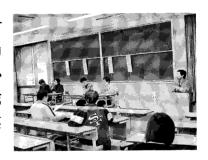
「役場が上からもの言って、公募だ・アンケートだ・ヒヤリングだでは、子どもがくるわけないじゃない。おとなは 言うことは立派でも実行しないと子どもは思っているのよ。子どもとおとなの信頼関係を作ることから始めなきゃ。 子どものいる場所に行って聞けば、本音が聞けるんじゃない」

「どうせ俺が行っても本音なんて聞けやしねえよ」

「そうね、あなたはファシリテーターとは反対だものね。やはりファシリテータ育成が先なのかな?おとなが変わんないとどうしようもないもんね」

「なんだいファシリテーターって?」

『子どもにやさしい町』って『子どもの権利条約』の精神がみなぎっている町なんだと誰かが言ってた。日本のおとなも子どもも、「子どもの権利条約」を知らない。その精神もね。でも、悲観することもないか。「子ども支援は施設型から声をかけあう市民型へ。子育て支援から子ども支援へ。地域の子どもは地域で育てる。私たちが生活する地域で、市民の力・親の力・子どもの力を取り戻そう」と、声も出てきた。こういうおとなと子どもとの連帯は可能だ。ネッ!





● ユニセフが国際展開しているプロジェクトでもある「こどもにやさしいまちづり」をテーマに、次世代育成支援や子どもの権利条例制定に向けた取り組みなど、子ども施策をめぐる多彩なアプローチについて意見交換を行いました。

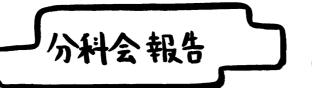
コーディネーター: 荒牧重人さん(山梨学院大学教授)

シンポジスト :森田明美さん(東洋大学教授)、古江律代さん(山鹿市子育 て支援専門員)、百田英子さん(志免町教育委員会教育相談員)、山並道枝さん (やまなみこども園園長)









 $(12 \exists 10:00 \sim 12:00, 13:00 \sim 15:00)$ 

分科会① 子どもの身近に自然を

企画団体名: 自然観察指導員熊本県連絡会、(N)水と緑いきものネットワークくまもと

参加者:子ども31名 おとな6名 計37名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

・ジオラマの自然に生きものの模型を置いていくゲーム。

・キャンパスでの自然観察会(ドングリやマツボックリ、クスノキの葉やササなどを題材に子どもたちに楽しく自然に触れてもらう機会となりました。)



- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。
  - ・子どもたちには自分たちで遊びを創り出す素晴らしい力があります。
  - 好奇心や感性が豊かで自然から多くを吸収してくれました。
- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。
  - 野外で楽しめる企画をお願いしたいです。
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。
  - 学校への呼びかけがもっとあればと思いました。

分科会② 盲学校ではなく、地域の中学校に入学して

企画団体名: インクルージョン熊本、(N) 自立生活センターヒューマンネットワーク熊本

参加者:子ども6名 おとな21名 計27名

- 1、 分科会の内容を簡単に教えてください。
  - ・アイスブレーキングで、雰囲気作りを行った。
  - ・現在熊本市立の中学校に通っている全盲の大山桂司さんから楽しい学校生活の様子や高校進学の 希望と課題を、そしてお母さんからこれまでの子育てのことや将来への思いなどの報告を受けた。
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。
  - ・初参加でイメージがつかめず不安もあったが少人数でなごやかな中に目標に沿って進めることはできたかなと思っている。
- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。
  - ・他の協賛団体行事とのブッキングがあり、全日程参加できず残念だった。ぜひ、調整をお願いしたい。
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。
  - ・短期間の取り組みにもかかわらず、子どもフォーラムなど組織運営され、 大変すばらしかったと思います。本部の業務本当に大変だったと思います。ご苦労様でした。









分科会③ インドの働く子どもたちと子どもの権利

企画団体名:国際子ども権利センター関西事務所

参加者:子ども5名 おとな6名 計11名

- 1、 分科会の内容を簡単に教えてください。
  - インドの働く子どものスライド
  - 子どもの権利条約についてのワークショップ
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。
  - ・子どもの権利条約について学びましたが、小学2年生の女の子が「国 を平和にしたいというのは権利条約にありますか」といわれたこと。
- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。
  - ・「賛同人願い」が毎年来てるのに今年は来なかった。リストを引きついで、毎年案内と賛同願いを今までの開催地も含めて全員出せば良いと思います。
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。

大変お世話になりました。展示も、すべて実行委員やボランティア、各担当の方のお働きにより実行させていただきました。ありがとうございました。

分科会④ 熊本の子ども達の声を国連に届けよう ~子どもの権利条約が認める市民の報告~

企画団体名: DCI熊本セクション

参加者:子ども6名 おとな8名 計14名





- •自己紹介。
- ・代表からDCI、報告書をつくる会の紹介。
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。
  - 子どもたちの参加がうれしく、力強かった。
- 3、次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。(空白)
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。 **お疲れ様でした。**







分科会⑤"いのち"のさかのぼり(自分の「生」をみつめて)

企画団体名: "人間と性"教育研究協議会熊本サークル

参加者:子ども6名 おとな11名 計17名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

自分のいのちのさかのぼりを通して自己肯定感を持たせるととも に、「自分の居場所」を確認していきました。

自分の「これまで」を見つめ、「これから」に願いを持ってほしいと 考え、授業ごっことフリートークを行いました。

- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。
  - ・中学生の子どもの素直な受け答え。
  - ・おとなの方も、フリートークで自分のことを話してくれました、笑顔で…。
- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

「性と生」の学習を長野でもぜひ行ってほしい。

(性教協長野サークルのみなさんへ 平林先生、よろしく!!入江より)

4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。

会場もとっても使いやすく、よかったです。









分科会⑥ モラルハラスメント ~より深刻な子どもへの心理的虐待~

企画団体名: こころのサポートセンター・ウィズ

参加者:子ども0名 おとな15名 計15名



1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

モラルハラスメントという心理的な暴力を知り、子どもへの影響を考えた。また、おとなとして今何ができるかをともに考えていった。

2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。

参加者の皆さんにしっかり考えてもらえていたようだ。より多くの人と これからも、ともに考えていきたいと思った。より多くの人に知らせていき たい。

3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

(空白)

4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。









分科会(7) 『親が変わる、教師が変わる』これが出発点!

企画団体名:アドラー心理学学習グループ

参加者:子ども0名 おとな(午前)18名(午後)29名 計47名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

アドラー心理学の育児プログラムについて、午前中は育児の目標を確認し、午後は賞や罰を使わない 勇気づけの対応についてディスカッションを中心にワークをしました。

2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。

参加して下さったみなさんが、子どもたちとのコミュニケーションを改善したいと切実に思っておられて、少しでも役に立てていただきたいと思いました。

3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

今回は、12 日午後のシンポジウムにも参加したかったのですが、我々のワークは平日では成立しづらいので残念ながらあきらめて、分科会運営をしました。分科会の企画をするときに、もう少し考えておけばよかったと反省しています。

4、その他お気づきの点がありましたらお書きください。(空白)

分科会(8) 問題解決力アップのための8ステップ(いじめ対応編)演習

企画団体名:子どもの人権・安全ステーション

参加者:子ども1名 おとな16名 計17名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

いじめ問題の解決力アップを目標にしたワークショップ。

3つのグループにわかれて「名前」をからかわれていじめられた子どもの事例をとりあげた。



2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。 **和やかな雰囲気で実施できた。** 

参加予定者が、なかなか入室されず、開始が 15 分遅れた。

- 3、次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。 会場を迷われた方がいらっしゃったので、目に付くところに案内図や誘 導図などがあればよかった。
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。







分科会 
の 私さえ我慢すれば解決できる? DV環境では子どもも被害者

企画団体名: (N) ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本

参加者:子ども0名 おとな10名 計10名

- 1、 分科会の内容を簡単に教えてください。
  - 1)夫・パートナー関係の暴力と子どもとの関係について講義
  - 2) 寸劇 2 本(あなたがいるから離婚できないと言う母、経済力がないから離婚できないと言う母)
  - 3)グループミーティング
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。
  - ・安全と安心がなく緊張度の強い家族関係を寸劇に組み立ててすることは、新しいパートを開く事になった。
  - ・これまでとは異なった関心分野の人々の参加を得ることができた。子 どもをテーマにしていたので参加しやすかったのかと思う。
- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。
  - ・日曜日の相談コーナーは広報不足だった。
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。
  - ・会場は大変良かった。

分科会⑩ 子ども時代を取り戻そう!—フィリッピンと日本の子ども問題 ワークショップ— 企画団体名:熊本YWCA

参加者:子ども9名 おとな6名 計15名



- 1、 分科会の内容を簡単に教えてください。
  - ・フィリピンの活動報告を通して、日本の子どもの問題について考える。
- ① フィリピンの子どもの問題に取り組んでいる団体、「プレダ」についての発表。
- ② 日本の子どもの問題は何なのか?みんなで解決方法、今の自分にできることを考えてもらう。
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。

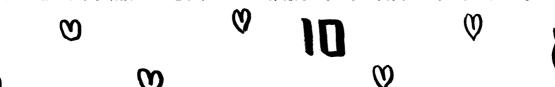
「子どもの権利」が、まだ周知されていない。自由に意見を出す場面でも意見が出せない。

子どもたちは実は関心を持っているから、おとなを始め、子どもと一緒に(教えてあげる、でなく)社会 的国際的問題を考えていく必要がある。いつも受身の環境だからか。

3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

子どもの権利の問題に取り組んでいる他のグループが、どのような活動をしているのか。紹介も説明もなかったので、初めて参加した人にとっては、よく分からないところがあった。

- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。
  - ・最後のまとめとして、今日の自分にできることを、より具体的に「どうすればいいかな」と、例を挙げて伝えるべきであった。「よかったね」という気持ちだけではなく、具体的に行動目標を立てられるように、そしてそれがどうして必要かをもっとアプローチする必要があると思った。 ・もっと一般の人たちの参加が増えるよう努力すべきであると思う。私たちは権利フォーラムに参加した安心感で終わってはいけないと思います。頑張っていきます!! ・素敵なフォーラム、ありがとうございました。





分科会① チャイルドラインを始めてみませんか~子どもたちの声を電話で受けとめる活動をあなたの地域で~

企画団体名:おおづ子どもサポネット

参加者:子ども0名 おとな11名 計11名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

「おおづ子どもサポネット」の活動について 電話相談上の悩み

兵庫県川西市の人権推進課のとりくみについて

2、分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。 参加者をふやす呼びかけがたりなかった。

川西市の人権推進課からの参加がありがたかった。

- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。 (空白)
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。 **5階7階より、1階2階がいい。**



分科会⑫ 忍者・学園大キャンパスを走る!

企画団体名:(N)熊本県子ども劇場連絡会 子ども遊便局

参加者:子ども20名 おとな15名 計35名

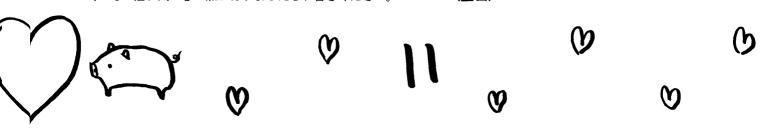
- 1、 分科会の内容を簡単に教えてください。
  - ・忍者遊びを通して仲間と表現し合う楽しさを体験する。
  - ・忍者のイメージをかぶせることで、熊本学園大学キャンパスが修行場所に変わる!
  - ・隠れ身修行、巻物お届け修行(影忍に見つからないように巻物を箱に入れる)
  - ・折り紙宝探し修行、ちゃんばら修行(おとな VS 子ども)
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。



- ・子どもたち一人一人のその気になる瞬間を大事にしながら修行(あそび) をすすめていった。
- ・目的達成に向かってどうすればいいか、作戦を全員で共有できた。自分の意見を出すことから始まり、ネコになったり、木や小川になったりするそれぞれの表現をすることができた。
- 高校生も楽しんでくれたみたいだ。
- ・5才から大学生までが、遊び合う空間ができてよかった。
- 3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

(空白)

4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。



分科会(3) ワークショップ・子どもの権利条約ってなに?

企画団体名:子どもの権利条約ネットワーク 参加者:子ども4名 おとな5名 計9名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

アイスブレイク:話さずに誕生日順や背の順に並び、緊張をほぐす。

この子の願い:「写真の子」を通して子どもの願い、そして権利条約の説明。

子どもの権利ビンゴ:日本と世界の子どもにまつわる設問(世界の子どもの条約を日本が批准した順番など)を書いたビンゴを通して現状について知る。

- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。 (**空白**)
- 3、次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。 午後の分科会はシンポと同時間帯だったので参加人数が少なかった。組み合わせを考えて欲しい。
- 4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。

条約に対する関心度が分からなく、かつ事前に聞いていた参加人数よりも少なかった。

教室や設備(ホワイトボード、ありがとうございます)は、ちょうど良かった。

実行委の人がもう少し他の分科会を見回ってもいいと思います。(内容や参加者の様子を把握する ためにも)

分科会(4) 多文化・国際家族の子どもの権利

企画団体名:コムスタカ、みるくらぶ

参加者:子ども3名 おとな31名 計34名



1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

多文化・国際家族による現状報告。また現状について、感じたことや 思うことを発表し、話し合う。

2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。

親の視点、子どもの視点から現状を見ることができたことが良かった。

3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

(空白)

4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。





分科会⑮ 子どものエンパワーメントを奪うのは誰か

企画団体名: フリー・ザ・チルドレン・ジャパン熊本

参加者:子ども8名 おとな7名 計15名

1、 分科会の内容を簡単に教えてください。

子どものもつ回復する力、エンパワーメントを奪うのは一体誰なのか。身近な人たちから学校での体験などから奪う存在を知り、自ら、どうこれらの現状に向き合い、対応していくか。しゃべり場として中身の濃いディスカッションを行いました。

はじめにアイスブレーキングをして、子どものエンパワーメントを奪うのは誰かグループで話し合って、 その解決策、宣言を考える。

2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。

伝えたいこと、語りたいことをたくさんかかえている子どもたちは、やはりたくさんいます。そして、互いに何らかの解決策を模索しているのだと感じました。その自発性のように感じる部分こそ、エンパワーメントであると、改めて感じました。

子どもとおとなの良い関係をもち、そしてリード、引き出しをしていけたらばと、思います。

子どもの方の「親の思うとおりにならないことはふつう」とか、こちらが元気付けられる言葉、そして感じてる不満など聞けてとてもうれしかったです。

3、 次回フォーラム開催に向けて、改善点やご提案がありましたらどうぞ。

子ども主体が基本原則なので、本番で子どもたちを大切にするのではなく、実行委員としての段階からすでに子どもとおとなの良い関係は求められるので、もっとその意識をしっかりともってもらえたら良いと思います。

子どもとおとながもっと心ゆくまでディスカッションできるような熱い場があったらいいなと思いました。

4、 その他お気づきの点がありましたらお書きください。

子どもたちの進行がよかったです、自分たちの言葉で。

#### 緊急ワークショップ いじめと子どもの救済

企画団体名:フォーラム実行委員会

参加者:子ども0名 おとな9名 計9名



- 1、 分科会の内容を簡単に教えてください。
  - ・川西市の子どもオンブズパーソンの紹介
  - ・弁護士の八尋八郎さんからいじめの事例、裁判についての紹介。
  - ・参加者からの質問、ディスカッション。
- 2、 分科会を企画して感じたこと、印象に残ったことを教えてください。

各地でいじめ問題に取り組みたいと考えているおとなはいますが、救済 手段へのアクセスが難しく、課題が多いことが印象に残りました。

